

2014年9月16日

報道関係者各位

株式会社スクウェア・エニックス

**スクウェア・エニックスと Actoz Soft、韓国における  
「ファイナルファンタジーXIV: 新生エオルゼア」の提供に合意**

株式会社スクウェア・エニックス（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：松田 洋祐、以下スクウェア・エニックス）と、盛大遊戯（シャンドゲームズ）グループのActoz Soft Co., Ltd.（本社：韓国ソウル市、CEO：ジョン・ドンヘ、以下アクトズソフト）は、「ファイナルファンタジーXIV: 新生エオルゼア」の韓国における独占販売権をアクトズソフトに許諾することに合意いたしました。韓国におけるサービスは、アクトズソフトにより2015年に運営を開始する予定です。

今回提供が決定した「ファイナルファンタジーXIV: 新生エオルゼア」は、韓国においても高い知名度を誇る「ファイナルファンタジー」シリーズの最新作で、同シリーズのオンラインゲーム（MMORPG※）としては初めての韓国展開となります。

※MMORPG（多人数同時参加型オンラインロールプレイングゲーム）

「ファイナルファンタジーXIV: 新生エオルゼア」は、2013年8月に日本・北米・欧州で運営を開始し、これまでに、中国版を除くグローバル版（日本・北米・欧州）の累計アカウント登録数は250万を突破しています。また、シャンドゲームズとの協業により中国本土でのオープンベータサービスを8月25日（月）から開始するなど、新たな地域展開を推進しています。

近年、「ファイナルファンタジー」シリーズでは、「ファイナルファンタジーXIII」シリーズや「ファイナルファンタジーX/X-2 HD Remaster」の韓国語版を発売したほか、同シリーズのスマートフォン向けゲームの韓国語版をリリースするなど、韓国市場に向けた本格的な展開に取り組み、韓国のファンから高い評価をいただいています。

当社は、世界有数の規模を誇り成長を続ける韓国のオンラインゲーム市場に向けて「ファイナルファンタジーXIV: 新生エオルゼア」を提供し、ユーザー層の拡大を図るとともに、重点戦略の一つとして位置づけているアジア市場での事業展開を一層加速してまいります。

なお、韓国における「ファイナルファンタジーXIV: 新生エオルゼア」はWindows®PC向けに提供し、また、日本・北米・欧州・中国本土とは別のサーバー、独立したサービスとして運用される予定です。その他韓国版「ファイナルファンタジーXIV: 新生エオルゼア」の詳細については、今後の発表をお待ちください。

## <ご参考>

### 株式会社スクウェア・エニックスについて

株式会社スクウェア・エニックスは、エンタテインメント分野において、創造的かつ革新的なコンテンツ／サービスのヒット作品を生み続けるリーディングカンパニーです。当社グループの自社IPの代表作には「ドラゴンクエスト」シリーズ（パッケージゲーム累計出荷本数6,400万本以上）、「ファイナルファンタジー」シリーズ（同1億1000万本以上）、「トゥームレイダー」シリーズ（同4,200万本以上）、「スペースインベーダー」シリーズなどがあります。

(<http://www.jp.square-enix.com>)

※Windowsは米国 Microsoft Corporation および/またはその関連会社の商標です。

※SQUARE ENIXおよびSQUARE ENIXロゴ、ドラゴンクエスト／DRAGON QUEST、ファイナルファンタジー／FINAL FANTASY、トゥームレイダー／TOMB RAIDER、スペースインベーダー／SPACE INVADERS、エオルゼア／EORZEA、その他の社名、商品名は、日本およびその他の国におけるスクウェア・エニックス・グループの商標または登録商標です。

※その他、記載されている会社名・商品名は、各社の商標または登録商標です。